

中仙道

都路往來

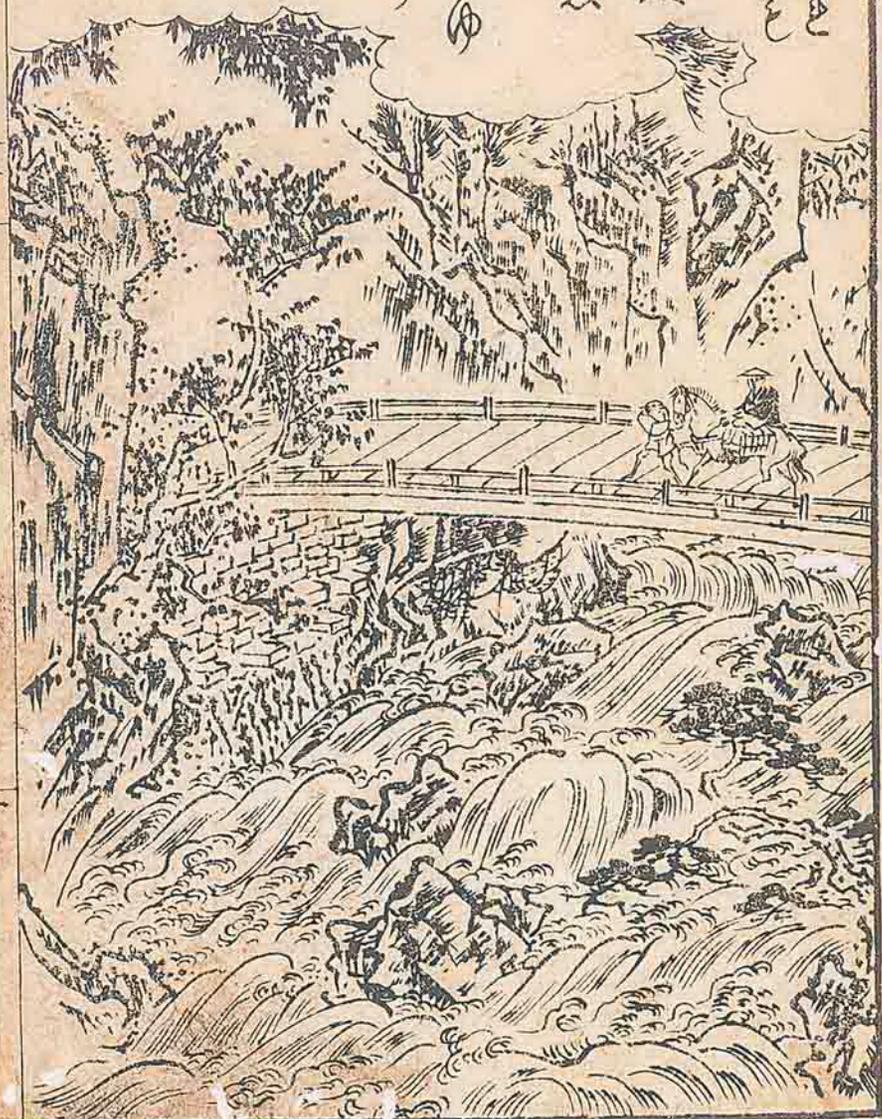
元本板

書庫

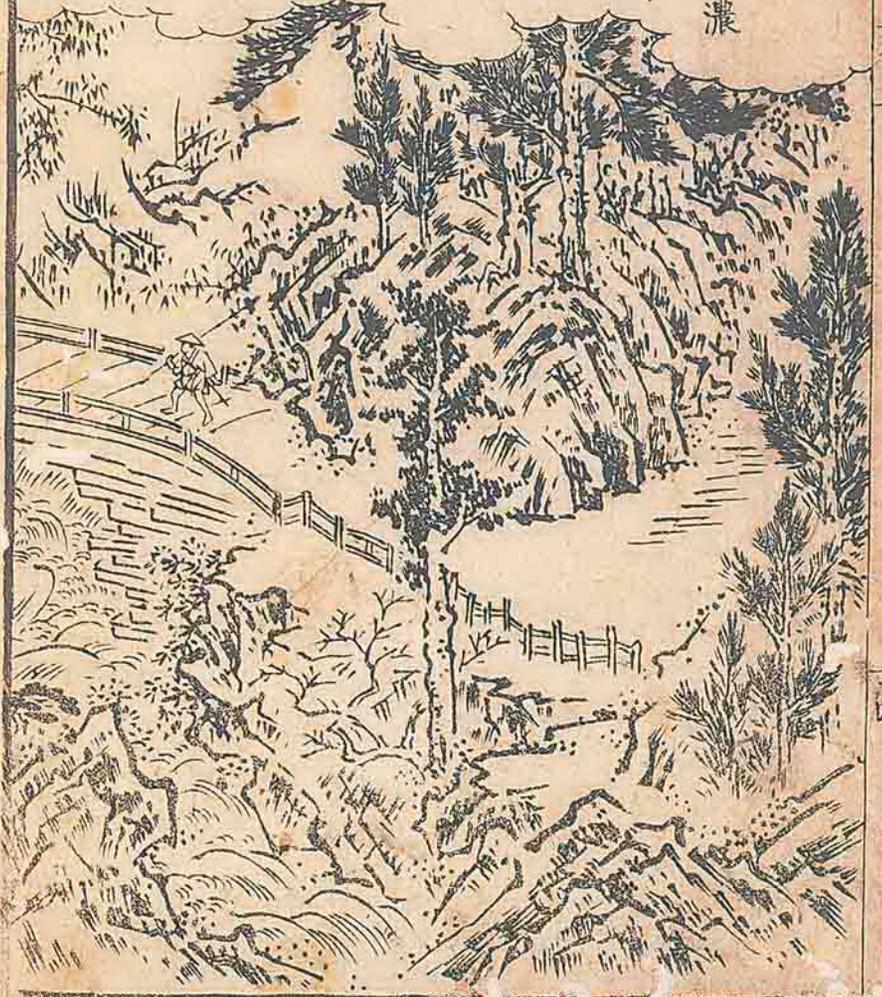
L685
+

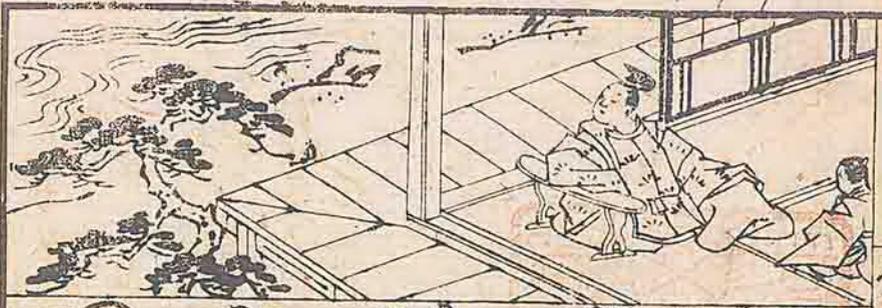
20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

まの
こゆ
し急
ぬ
ま
ま
ま



木曾棧
信濃
おのほ
ま
ま
ま
ま
ま
ま
ま





大日本國盡
 五畿内五箇國
 山城大和
 河内和泉
 摂津
 東海道五箇國
 伊賀伊勢
 志摩尾張
 参河遠江
 駿河甲斐

九十九のえ
 山崎のた
 喜多川のた
 よもやのた
 つまらぬ

大日本國盡
 五畿内五箇國
 山城大和
 河内和泉
 摂津
 東海道五箇國
 伊賀伊勢
 志摩尾張
 参河遠江
 駿河甲斐

板橋の幸
 霜のた
 蕨のた

伊豆相摸
 武藏安房
 上総下総
 常陸
 東道八箇国
 近江美濃
 飛弾信濃
 上野下野
 陸奥出羽
 北陸道七箇国

若狭越前
 加賀能登
 越中越後
 佐渡
 山陰道八箇国
 丹波丹後
 但馬因幡
 伯耆出雲
 石見隱岐
 山陽道八箇国

磯の浪遠を浦を
 白のつら人の情は
 七五毒を結ぶ事
 今もぬぢぬ
 うたふもふ虎仇

波を志のぬ浦川
 水竹の壘と時集に
 運ぶもれ乃虎ふ
 城の月洗紅管と
 楼をさし去の好ま

播磨美作 備前備中 備後安藝 周防長門 南海道六箇国 紀伊淡路 阿波讃岐 伊豫土佐 西海道九箇国 筑前筑後

豊前豊後 肥前肥後 日向大隅 薩摩餘計 壹岐對馬



命の御守 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本

松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本

五性名頭字

木性	後	年	覺	加	岸	牛	源	郎
久	必	男	九	義	橙	金	又	國
彦	菊	定	勘	戸	叢	瓶	吉	色

坂本城のひれ

くろの確日の踏石

体ゆゑの軽井澤

もつたる夕櫻の

なりと取まき事下

嘉

二

深

徳

弱

傳

沢

岩

敬

冠の心乃圃に

留掛の山風

小田井の晴の看經

早のせえ光村田藤

重徳の治乃田魁

依	圖	又	軍	安	玉	陸	印	矢	林
和	虎	江	老	恒	由	与	理	仲	寅
者	轟	乙	荒	宇	依	一	累	園	利

森の幡をぬくま
 けは望月し釣綱者
 田鶴のよる意田はあも
 昔久保は海で来た
 和國の板石や棒が

友	甚	真	庭	西	政	為	皆	左	剛
徳	魚	為	衆	潔	次	作	市	公	新
金	七	十	淡	宗	善	勝	秘	佐	辰

海士の名をいひ
 新米より漕船が
 森の志好の陸虎の
 山より渡り本山乃也
 なるは枝をわめ針

平	山	田	品	海	理	無	日	深	且
備	本	津	福	他	百	松	孫	三	務
品	後	子	万	八	航	水	精	想	己
						性			

婦 賢 川 あり 山 有
 世 の 志 丹 敷 深 く
 古 志 坂 登 ぐ 彩 花
 多 哉 い の 実 死 皇 氏
 文武 実 一 大 五 丸 室

小	云	属	茂	右	無	女	糸	一	六
魁	後	門	名	志	清	助	懸	二	七
武	梅	派	支	左	志	丸	鳥	三	八
				志	志	丸	鳥	四	九
								五	十

二 子 乃 一 の 末 以 種 あり
 榎 枿 ち ら 渡 し と 成
 木 下 心 室 へ 深 溪 へ
 植 け 込 め 我 仲 乃 志
 ひ 乳 母 仲 権 道 道

七海より神をいふ
 とりてをいふ大
 内は涼夜の東
 庭前はのりふ
 伊礼と西脚之燈
 香九かま玉指
 の佐田をを備へ
 番を始たしふ
 あと今と星の
 新なる也い新
 七針の元糸
 とをて終り

けり人そ新け
 ちりありとそ
 宿女ありとそ
 まふとめあそと
 しのあそとそ
 人あそとそ



小母と流るる女
 野虎より見たるに
 此つしと聖なる志
 ひと妻とる花と
 今と女と金の中

津川と舟の舟と
 とそととととと
 有るそとととと
 津川と舟の舟と
 舟と舟の舟と

七夕の契たが

わらうりあふ

あふいれ

月夜

りせうりん

秋とて

きんぎょ

らきうつこせぬ

夫の川きまを

をぬりても

まきくわき

七夕のれと

わふよのきん

中まといふ

七夕のむれ

うらや

あうん

ゆとーけいの

かたれんえ

たまうら

昔のむね

うらや

くまうら

うらや

あれこれ

うらや

わふよの

あつらふ

あつらふ

ねえしよふく河の罪の根

毛粘にき清め舟を

燈照に仏のるふか納

ねりふん渡さるる

あしはねのむね

物見の松の志坂や地

うらやのむね

うらやのむね

のむねのむね

あつらふのむね

七夕のさけ
舟乃橋の紫
く秋のまら
あ乃
あ乃

あ乃

七夕の
あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

天の川あきせ
あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

常盤井を汲くは
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

七夕の川
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

あ乃
あ乃
あ乃
あ乃

物もののの心こころののままを
 ちちのの川がは
 ああのの水みづははいいりり
 ああのの心こころののままを
 ととのの心こころののままを
 ああのの心こころののままを
 七しちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを

月之異名盡

正月 孟春
 歳首 青陽
 端月 陽春
 青帝 大族
 二月 中春
 令月 四陽
 如月 夾鐘
 三月 季春
 櫻月 鶯時

乃の清きよのの水みづははいいりり
 陰いんのの書かきははいいりり
 城しろのの心こころののままを
 磨こ針はり味あじははいいりり
 のの音ねははいいりり

多おほ笑えのの花はな表あはれれ割わりの
 禰ね神かみ後ご也や勢せのの母ははととん
 名なふふじじをを智ち智ち川がは越こて
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを
 ちちのの心こころののままを

曉あけ妻つま姑おば洗せん

四月しがつ立夏りつげ

朱しゆ明めい純じゆん陽やう

梅うめ月づき首くび夏なつ

余よ月づき仲なつ呂りよ

五月ごがつ中なつ夏なつ

盛さか夏なつ梅うめ天てん

舉あ月づき蕤ずい賓ひん

六月ろくがつ庚かう伏ふく

亢かう陽やう季き夏なつ

三さん伏ふく林りん鐘かね

七月しちがつ初はつ秋あき

相あひ月づき蘭らん月づき

蒸むせ商かう夷い則すく

八月はちがつ仲なつ秋あき

白はく露ろ秋あき高たか

中ちゆう律りつ南なん呂りよ

九月くがつ涼りやう秋あき

長ちやう月づき季き商かう

玄げん月づき無む射しゃ

鏡かがみ山やまのの水みづのの流ながるるをを見みるる

若わか草くさのの花はなはは人ひとのの目めをを

流ながるる水みづのの音ねはは心こころをを

流ながるる水みづのの宿しゆくはは心こころをを

ももととせせ播はるる川かみのの旁はたらら

ああくく暗くらむむををてて却かへりり

人ひとのの粟あは津つのの水みづのの止とどまま

ななむむ未いまだだはは流ながるる

ししららひひのの道みちははああれれ

のの流ながるる水みづのの音ねはは心こころをを



相極遠士	暢新十	泰孟十
天月冬	月陽月	正冬月
大呂四週	黄氷水	應陽月
呂極年	港庄易	應陽月

如松の二樹ふ大津
 乃清ありき敷みて人の
 約やも井の跡ふれは
 を身れきふ乾ぬれ

久米田のあやう
 京の原の大橋さう
 毎さうのちりあ

天明五載乙巳八月吉旦

江戸大傳馬町二丁目

書林 瑞玉堂 大和田安兵衛板



